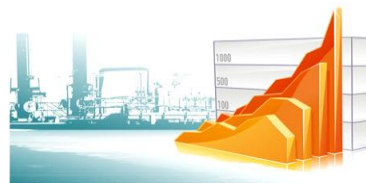


岐阜経済レポート



令和8年7月分
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは7月27日～29日を中心に実施し、8月31日時点で作成。

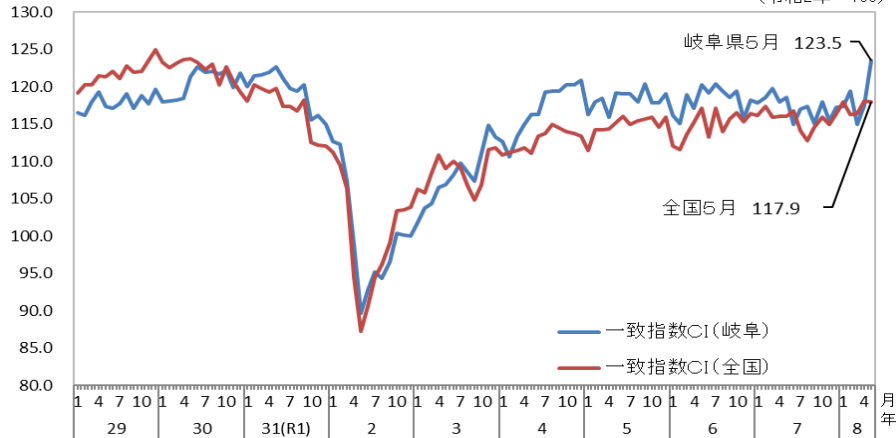
景気動向

○5月の景気動向指数(一致指数)は、123.5
で前月比5.9ポイント上昇となった。

○6月の県内中小企業の景況感は、▲26.0で
前月比▲2.0ポイントとなった。

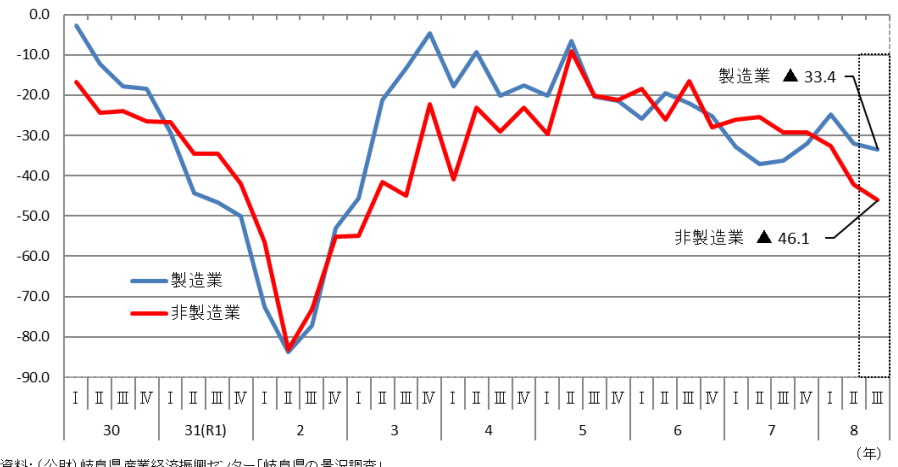
○7－9月期の景況DI見通しは、製造業で前期比▲1. 3ポイント、非製造業で▲3. 9ポイントとなった。売上高DI見通しは、製造業で前期比▲6. 0ポイント、非製造業で同▲9. 4ポイントとなった。

岐阜県及び全国の景気動向指数（一致指数）の推移 （令和2年＝100）



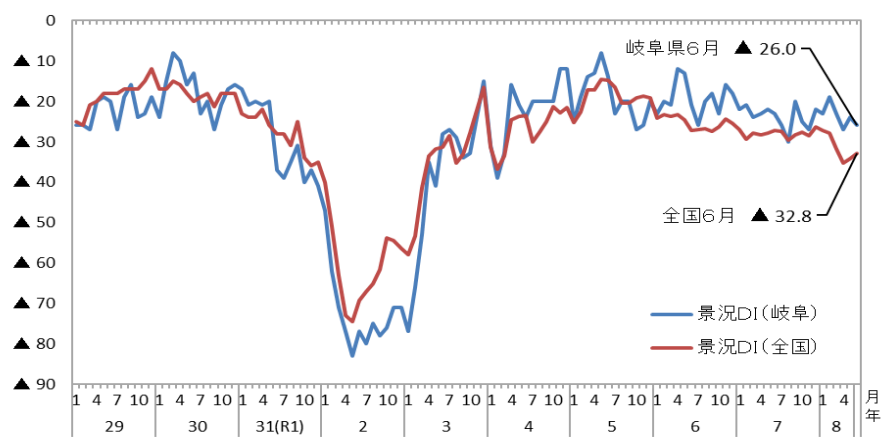
資料：県統計課「岐阜県景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

県内企業の景況DI(増加－減少)の推移



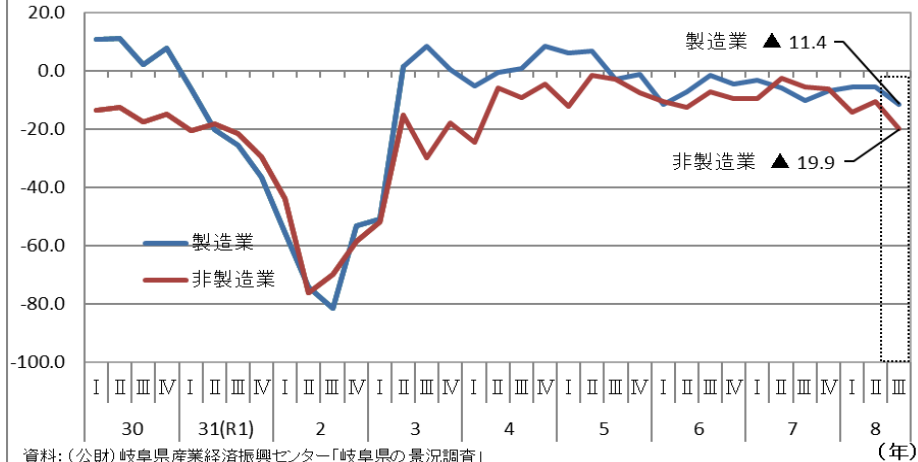
資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感D I（好転－悪化）の推移



資料: 岐阜県中小企業団体中央会「岐阜県内中小企業の景況動向」、全国中小企業団体中央会「中小企業月次景況調査」

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移



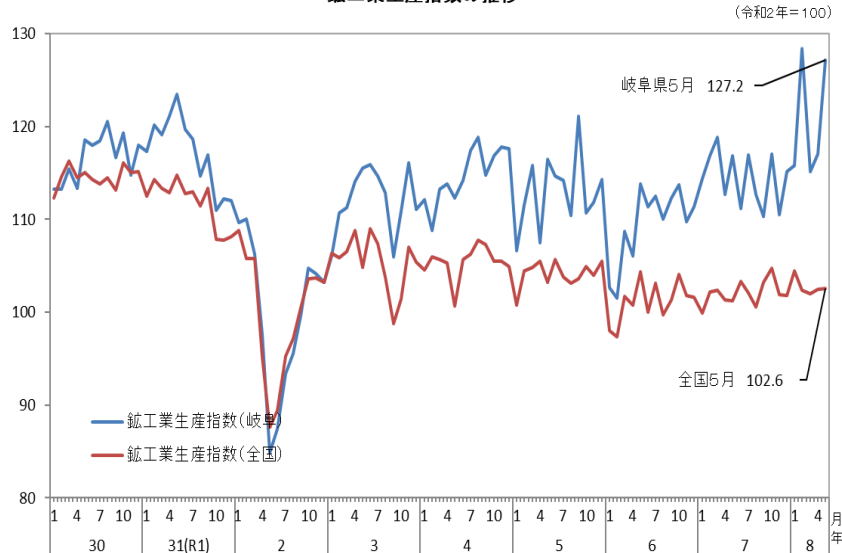
資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

製造業

○5月の県内鉱工業生産指数(季節調整済)
は、127.2で前月比8.6%上昇となった。
○5月の全国の鉱工業生産指数(季節調整済)
は、102.6で前月比0.1%上昇となった。

○5月の主な産業の指数は、化学工業で前月比
45.4%、輸送機械で同17.1%、電気機械で同
14.0%、金属製品で同5.2%、非鉄金属で同
1.9%、プラスチック製品で同0.5%、はん用で同
0.4%上昇した一方で、窯業・土石で同▲0.1%と
なった。

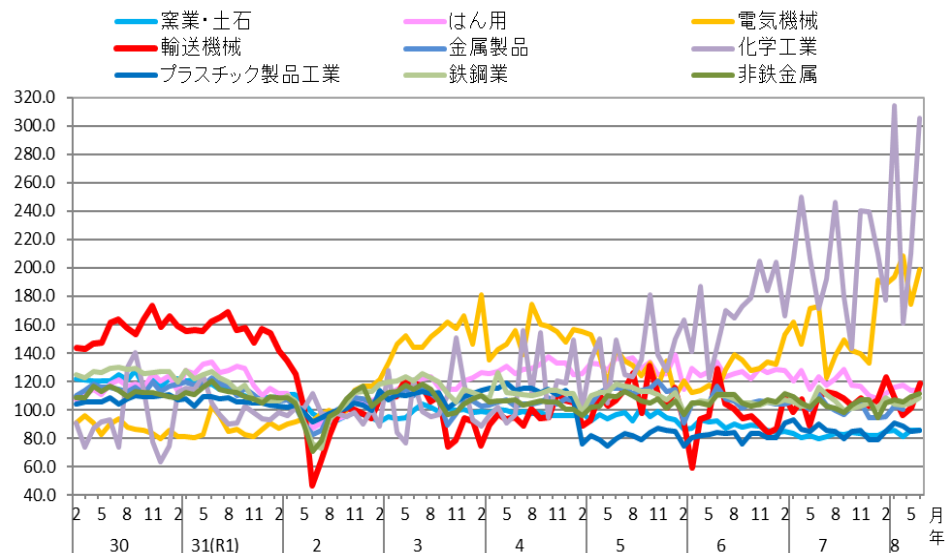
鉱工業生産指数の推移



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」、経済産業省「鉱工業生産指数」

主な産業の鉱工業生産指数

(令和2年=100)



資料: 県統計課「岐阜県鉱工業指数」

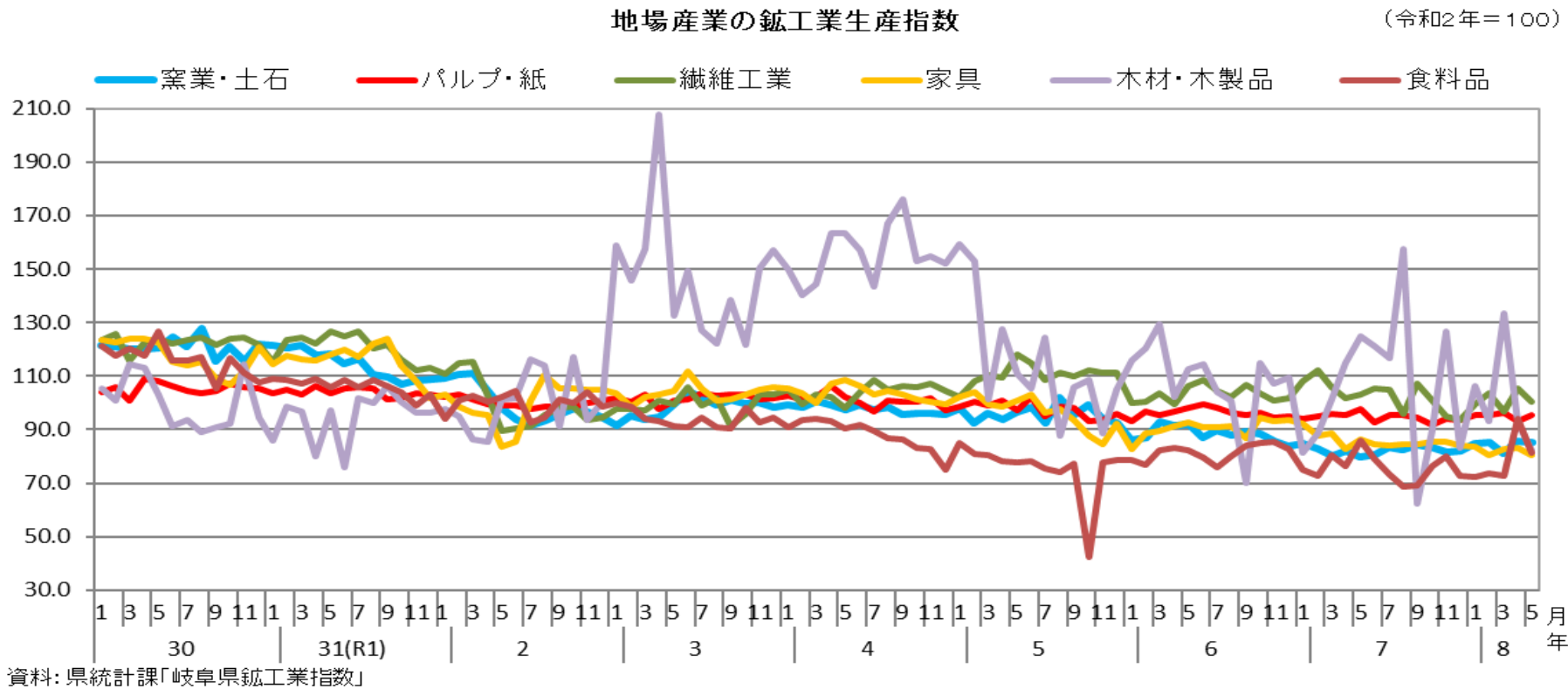
現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 飛翔体部門の受注は引き続き順調であり、防衛部門からも受注が増えてきている。(輸送用機械)
- ◆ 国内自動車メーカー向け事業を整理・縮小し、中国資本のバッテリー工場を建設・稼働させ、業績が大幅に回復した。(輸送用機械)
- ◆ 製品に使用するタングステンの輸入がストップしているなど、原材料費の値上がりがいまだに続いている。(輸送用機械)
- ◆ 中東情勢や中国の対日輸出規制等の影響による材料等の高騰分を価格転嫁することが難しかったが、電気代の高騰分はある程度、価格転嫁してもらえるようになった。(生産用機械器具)

製造業-2

○5月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、パルプ・紙で前月比2.6%上昇した一方で、食料品で同▲13.7%、木材・木製品で同▲11.2%、繊維工業で同▲5.0%、家具で同▲3.6%、窯業・土石で同▲0.1%となった。



現場の動き

(※中東情勢に伴う経済変動の影響はP6にも掲載)

- ◆ 低価格なカジュアル商品と機能的なリカバリーウェアの動きは良いが、その他の衣料品は苦戦しており、価格転嫁が出来ていない。(繊維・アパレル)
- ◆ 高級包丁が円安による輸出好調、インバウンド需要好調。市場としては需要に対して供給が不足している。(刃物)
- ◆ 原材料(パルプ等)の仕入れ価格は値上げ傾向が続いている。全体的に出荷量は減っているので、価格転嫁は様子を見ながら慎重に行っている。(パルプ・紙)

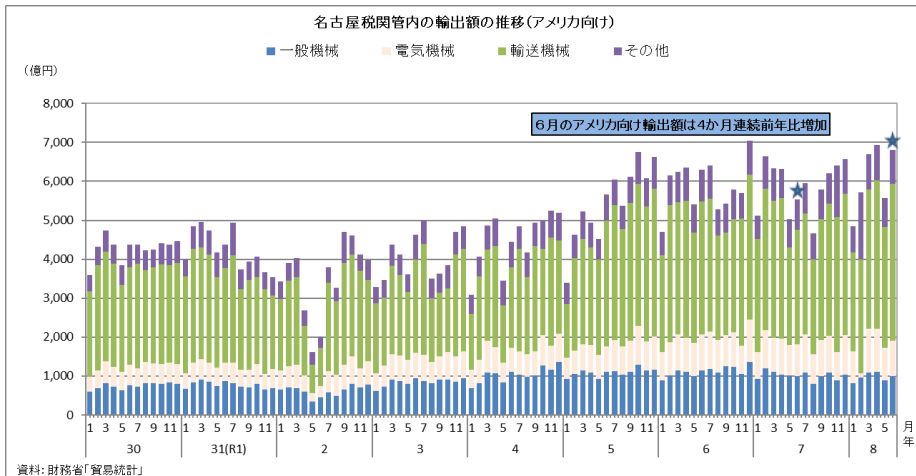
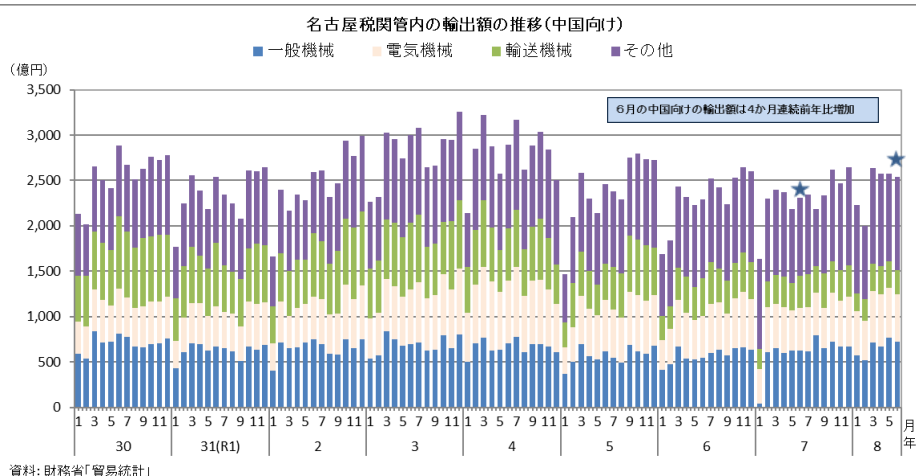
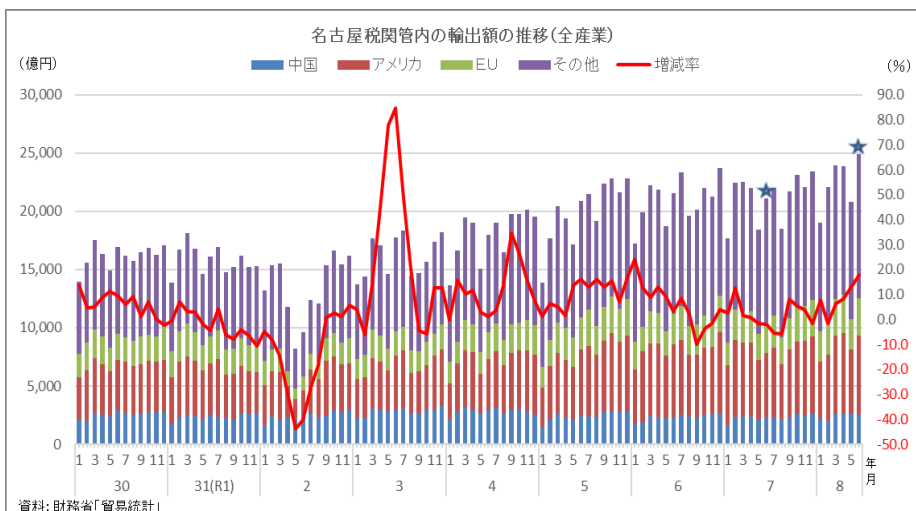
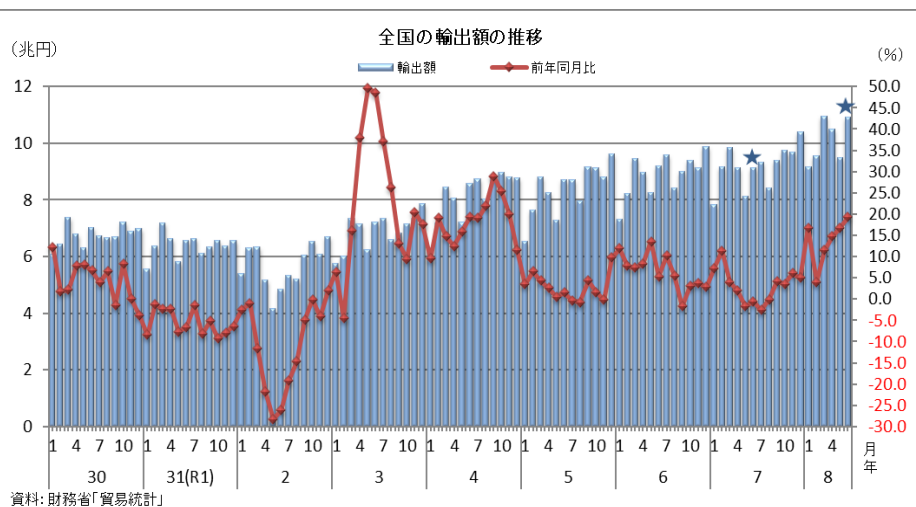
輸 出(名古屋税関管内)

○6月の輸出額(全国)は、10兆9,265億円で前年同月19.3%増加となった。

○6月の輸出額(名古屋税関内)は、2兆4,925億円で前年同月比18.0%増加となった。

○中国向けは、全体で前年同月比9.8%増加となった。その内、電気機械で同12.4%、一般機械で同15.1%増加した一方で、輸送機械で同▲24.6%となった。

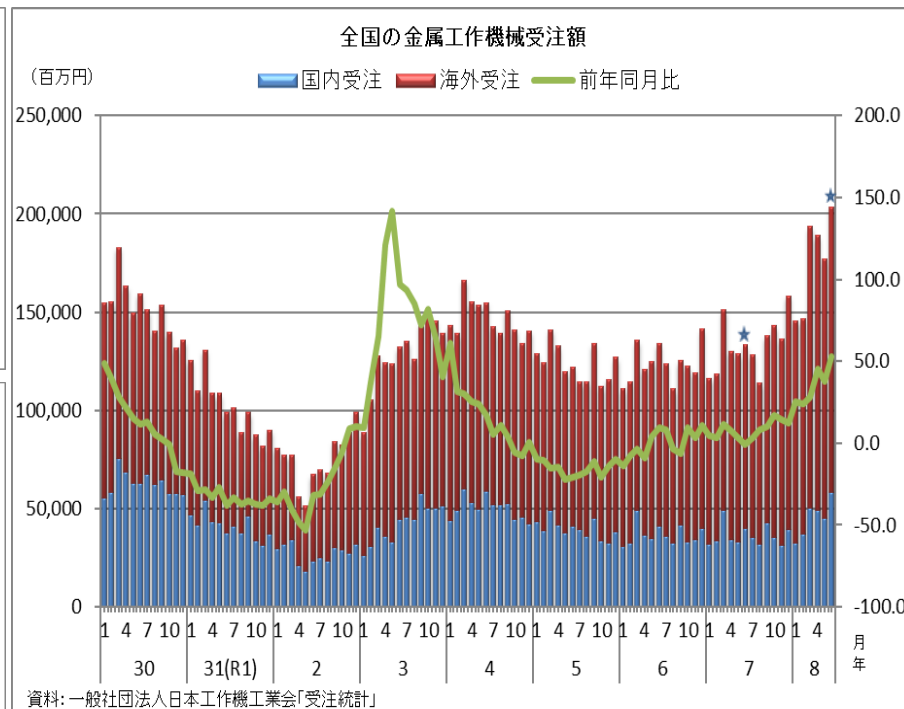
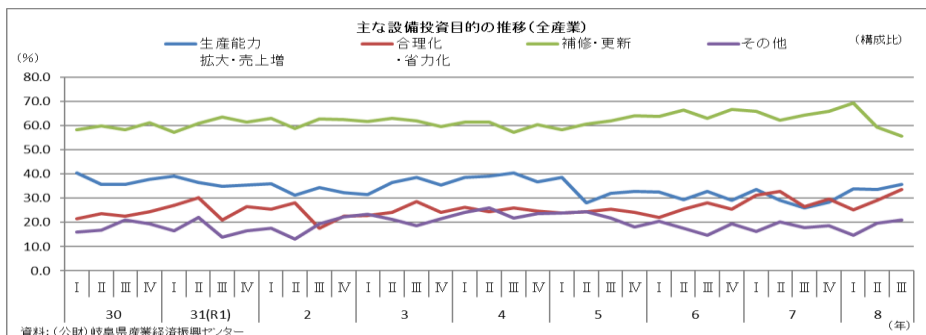
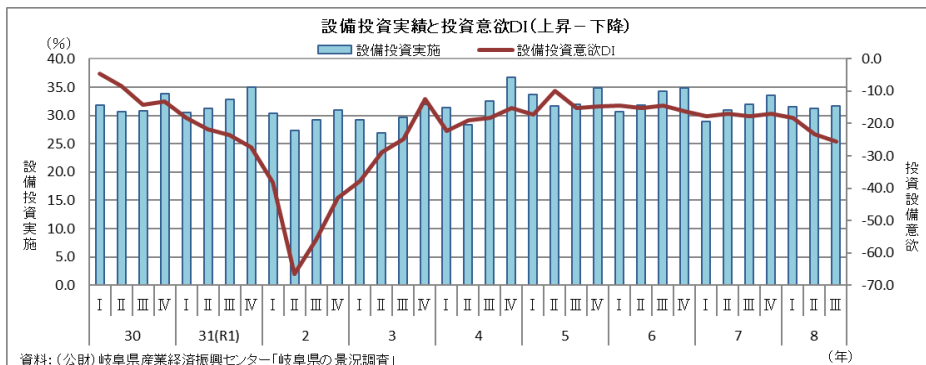
○アメリカ向けは、全体で前年同月比23.2%増加となった。その内、輸送機械で同36.6%、電気機械で同12.6%増加した一方で、一般機械で同▲0.7%となった。



設備投資

○7－9月期の設備投資実施見通しは前期比0.4ポイント上昇、設備投資意欲DI実績は同▲2.4ポイントとなった。設備投資実施見通しの目的別では「合理化・省力化」で前期比4.5ポイント、「生産能力拡大・売上増」で同2.1ポイント上昇、「補修・更新」で同▲3.5ポイントとなった。

○6月の全国の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比52.8%増加と12ヶ月連続で前年を上回った。内訳は海外受注は同56.0%増加と21ヶ月連続、国内受注は同45.5%増加と6か月連続で前年同月を上回った。



現場の動き

- ◆ 設備更新やラインの自動化に向けた投資が6割、コロナ期に先送りした保守関係の投資を4割程度で進める見込み。(輸送用機械)
- ◆ コスト高を受けて設備投資を控える考えと、今後更なるコスト上昇が見込まれることから、今のうちに投資に踏み切る考えの二通りの傾向がみられる。(金融機関)

中東情勢に伴う影響について

- ◆ 潤滑油や作業用ゴム手袋などの副資材を購入しやすくなってきたが、まだ完全ではない。(輸送用機械)
- ◆ シンナーやエチレン樹脂等石油由来製品の供給不安はなくなったが、調達価格の上昇が止まらない。価格転嫁は進めていくが、最終的にエンドユーザーが負担することになり、車の買い替え需要にも影響がでけると懸念。(輸送用機械)
- ◆ プレス等で使う潤滑油・オイル類の値段は高止まりしているものの問題なく入手できる。(輸送用機械)
- ◆ 客先である自動車メーカーの生産計画が見通せない状況が続いている。今後、更なる減産の可能性もある。(生産用機械)
- ◆ コスト高騰と価格転嫁遅れにより利益率が減少。(生産用機械)
- ◆ 購入品の値上がりによりコストが増えている。先月から価格転嫁の交渉を進めていたが、進捗は厳しい。(はん用機械)
- ◆ プラスチック材料の単価がキロ当たり100円値上がりした。ただし大手自動車メーカーでは価格転嫁が認められている。(プラスチック製品)
- ◆ OEMについては順次、価格改定により値上げを進めるが、仕入価格の上昇と値上げとの時間差がある。(刃物)
- ◆ 原材料については、仕入価格高騰が大きな問題としてのしかかっている。流通の目詰まりも懸念されたが、あまりにもひどい流通ストップは現在聞こえてこない。(陶磁器)
- ◆ 小売用のパッケージが価格高騰と品薄。新パッケージを製造したいが、インクなどの不足から取り合ってもらえない状況。(食品)
- ◆ 資材価格の上昇、物流の遅れ等に伴う工期遅延や採算悪化など建設業界に影響がでている。(建設)
- ◆ 中東情勢が長期化すれば、さらに幅広い商品に価格上昇が及ぶ可能性がある。小規模事業者にとっては、個々の値上げ幅が小さくても、それが繰り返されることによる累積負担が大きい。(商店街)
- ◆ 資金繰りが悪化する取引先が増加し、影響が顕在化してきた印象。(金融機関)
- ◆ どの業者もコスト上昇等への対応に努めながら現状を耐えている印象。(金融機関)

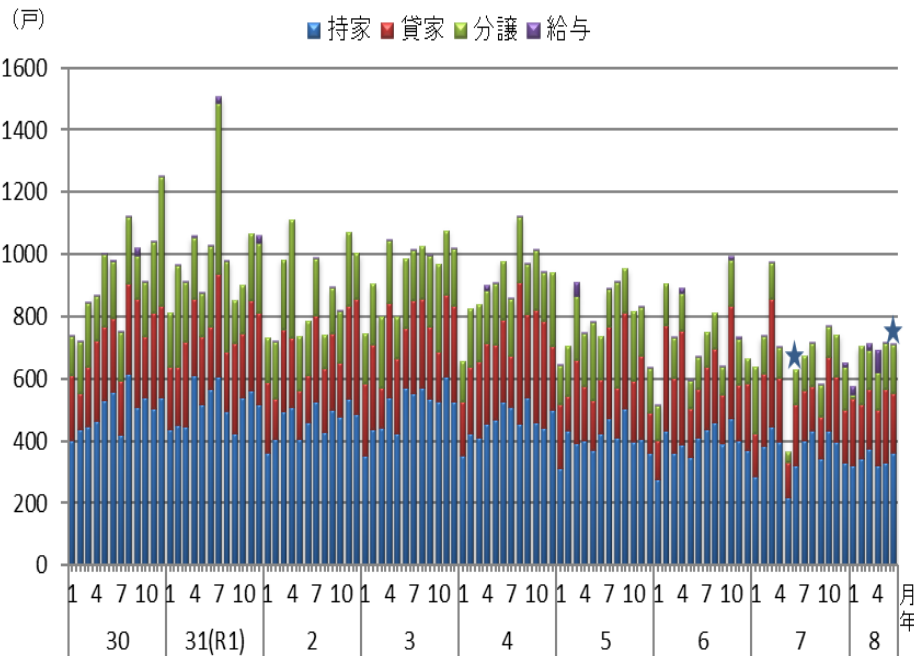
住宅・建築投資

○6月の住宅着工戸数は、前年同月比12.8%増加となった。

○分譲で前年同月比36.3%、持家で同13.8%増加、貸家で同▲3.1%となった。

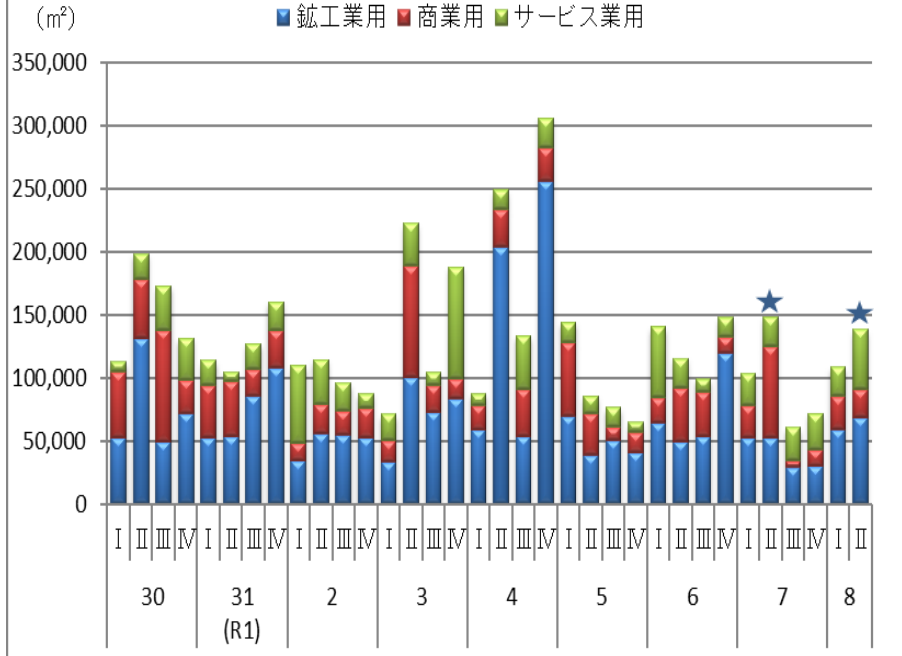
○4－6月期の非居住用の建築着工床面積は、サービス業用で前年同期比97.4% 鉱工業用で同31.7%上昇、商業用で同▲68.7%、全体で同▲6.8%となった。

新設住宅着工戸数の推移



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)



資料：県建築指導課「岐阜県建築着工統計」

(年)

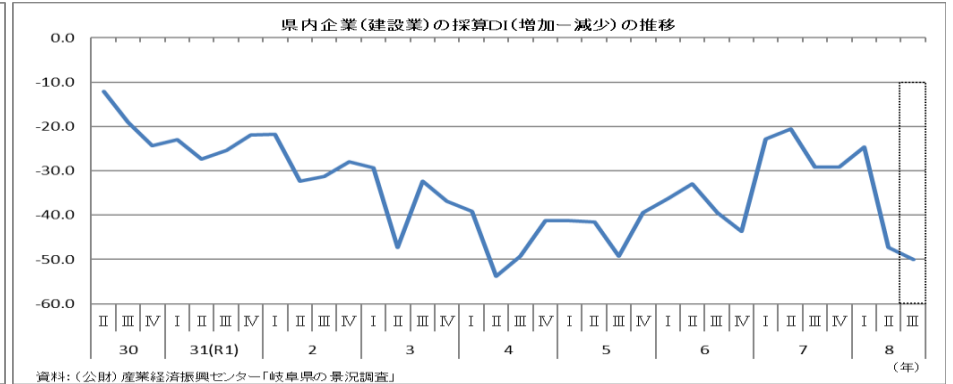
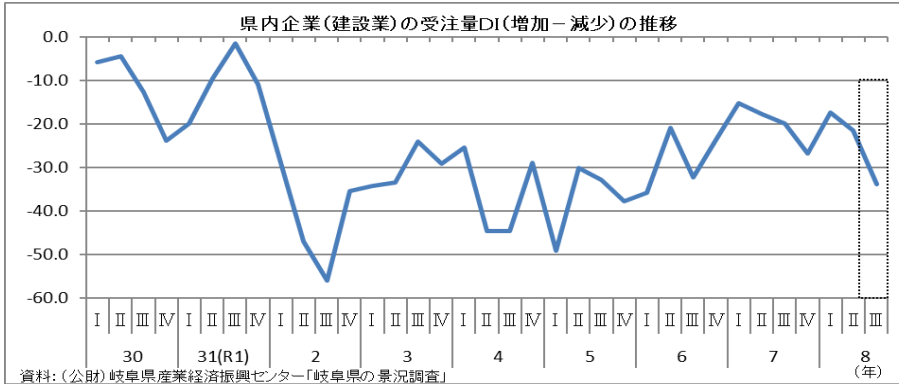
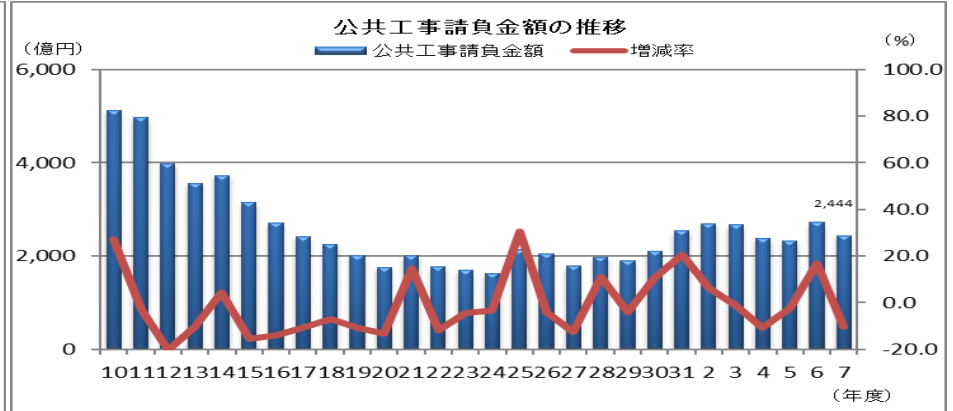
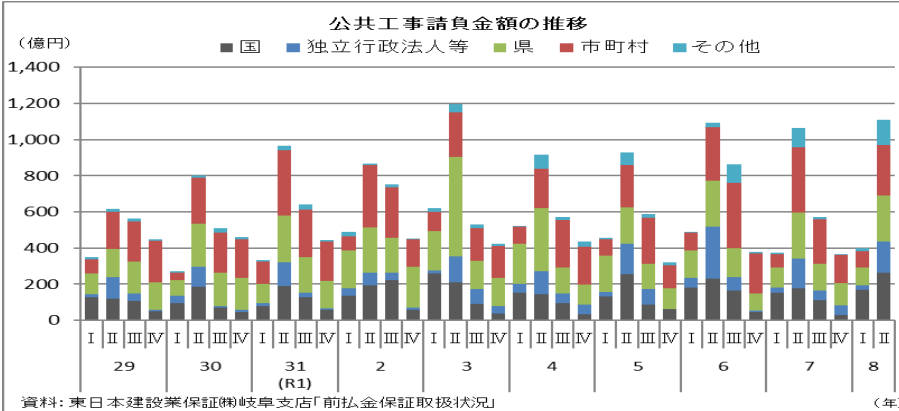
現場の動き

- ◆ 中東情勢の影響により、全体的に建築資材関係が10%前後値上がりしている。これにより建築計画の見直しも出てくることが想定される。(木材)
- ◆ 資材は、多少の遅れはあるものの入荷するようになり、工期の遅れもない。(木材)
- ◆ 5月以降、契約数が低調なまま横ばいが続いている状況。感覚的には徐々に落ちている。(木材)
- ◆ 中東情勢の影響は前月より緩和されつつあるものの、一部資材については調達しにくいものがある。ナフサ関連製品の不安定供給については、見通しがつかない。(木材)

建設工事

○4－6月期の発注者別の公共工事請負金額は、国で前年同期比47.5%、独立行政法人等で同6.1%、県で同1.2%、全体で同2.6%増加となった。

○県内建設業の7－9月期の受注量DI見通しは前期比▲12.2ポイント、同採算DI見通しは▲2.7ポイントとなった。



現場の動き

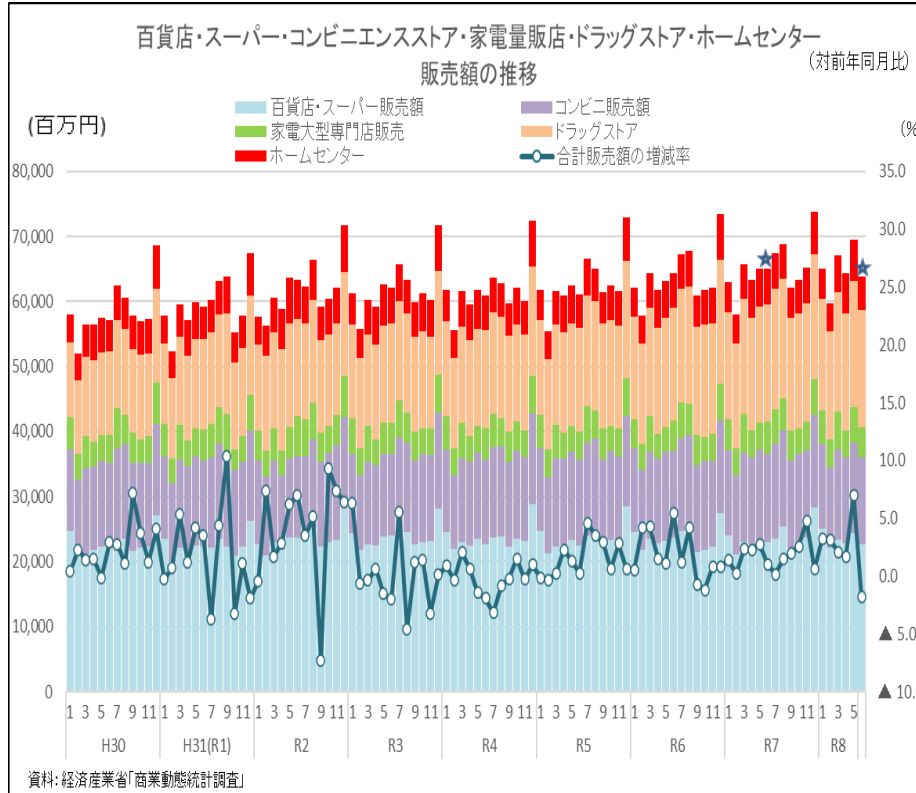
- ◆ 発注案件の工事規模(金額)が小規模化しているように感じる。
- ◆ 運送費も含め、仕入れコストは上昇しており、今後も上昇する見込み。
- ◆ 現在は影響ないが、中東情勢の悪化が続くようであれば、原油高騰、品薄等によりアスファルト合材の仕入れ、売上等への影響が生ずると思われる。

(以上、建設)

個人消費(流通・小売)

○6月は家電大型専門店で前年同月比▲7.4%、ホームセンターで同▲3.9%、百貨店・スーパーで同▲1.6%、コンビニで同▲1.1%、ドラッグストアで同▲0.3%となった。全体では▲1.8と20ヶ月ぶりに減少となった。

○6月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比16.6%増加となった。軽自動車では同9.6%増加となった。合算では同14.1%と3か月連続で前年同月比を上回った。



現場の動き

- ◆ 売上と客数は前年を上回り、非常に厳しかった先月からはトレンドが少し回復するも、全体としては厳しい状況が続く。
- ◆ 世界情勢を鑑み、業界を取り巻く環境は厳しく、売価や仕入れ値が下がる要素はないため、今後もこの傾向は続く見込み。
(以上、県内商業施設)

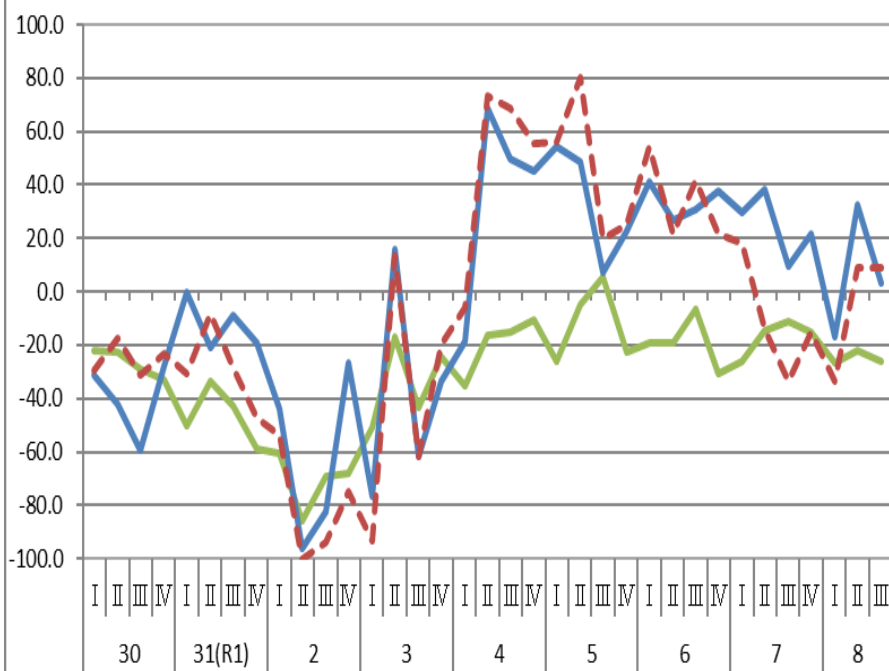
個人消費(流通・小売)－2

○7－9月期の売上高DI見通しは、飲食店で前期比横ばい、サービス業(余暇関連)で同▲29.1ポイント、小売業で同▲4.3ポイントとなった。

○同じく販売価格DI実績は、サービス業(余暇関連)で前期比▲18.8ポイント、小売業で▲9.4%飲食店で同▲9.1ポイントとなった。

県内企業の売上高DI(増加－減少)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

県内企業の製品販売価格DI(上昇－下降)の推移

— 小売業 — サービス業(余暇関連) - - - 飲食店



資料: (公財) 岐阜県産業経済振興センター「岐阜県の景況調査」

(年)

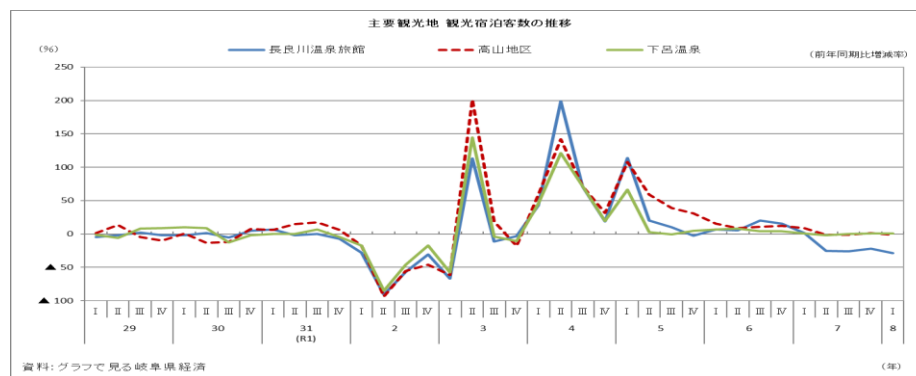
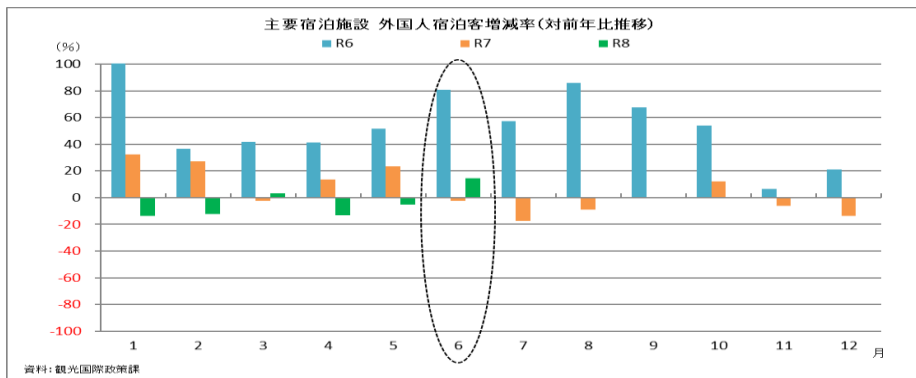
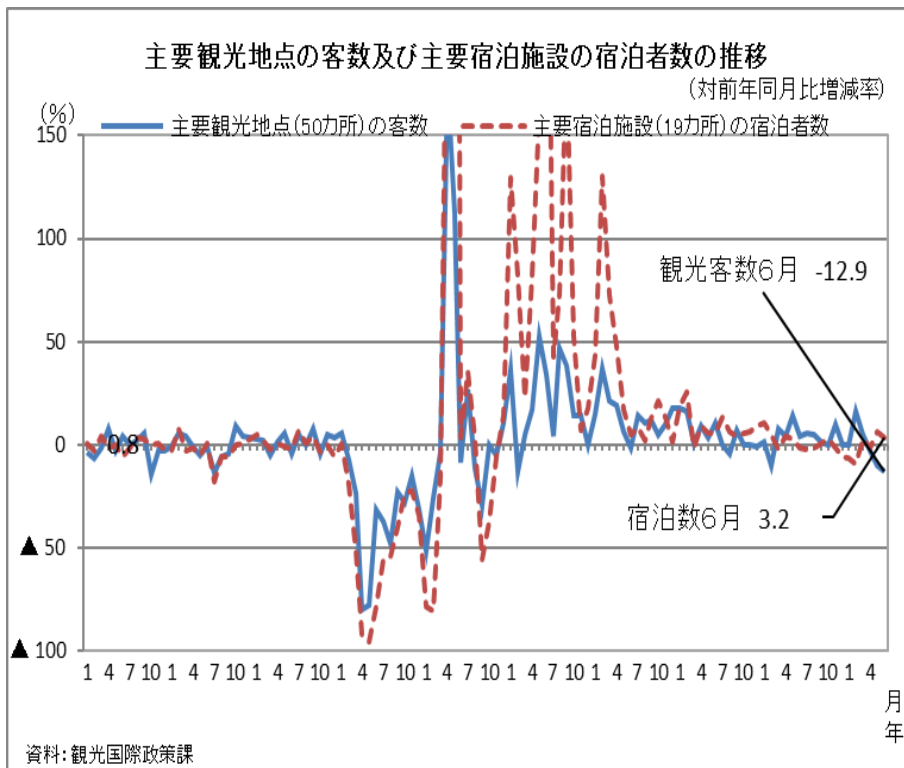
現場の動き

- ◆ 価格転嫁については、毎年、半期ごとの価格変更で見直しを実施しており、秋冬ものの価格は、10～15%の値上がり。円安の影響は、春夏物の時期に影響すると見込んでいる。(柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 連日の猛暑で、特に日中の時間帯は街歩きする人が減少している。インバウンド客も一定数訪れているものの、暑さの影響から長時間の滞在や商店街内の買い回りが少なくなっていると感じる。(高山商店街)

観光

○主要宿泊施設における6月の宿泊者数は、前年同月比3.2%増、令和元年同月比では6.9%減となっている。

○6月の主要宿泊施設における外国人宿泊者数は、コロナ前の令和元年同月比では、31.1%増となっている。

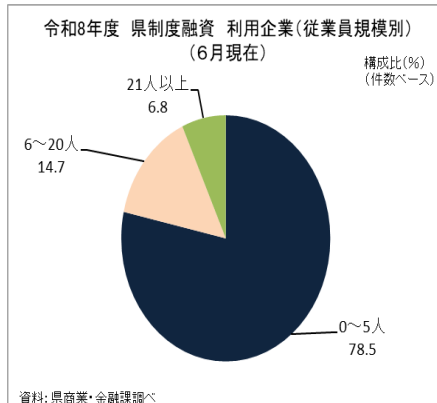
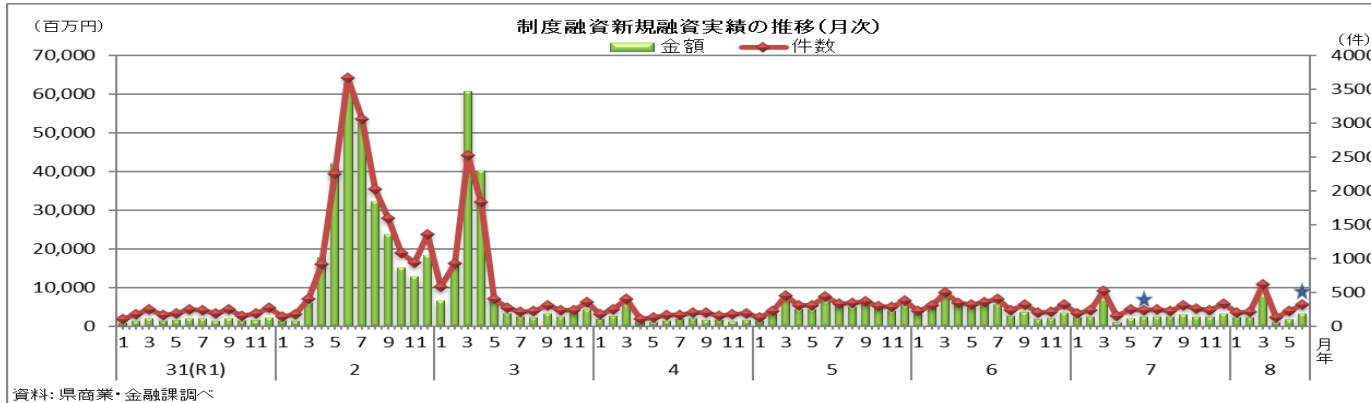
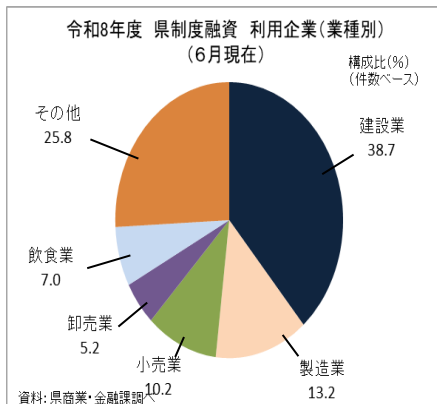
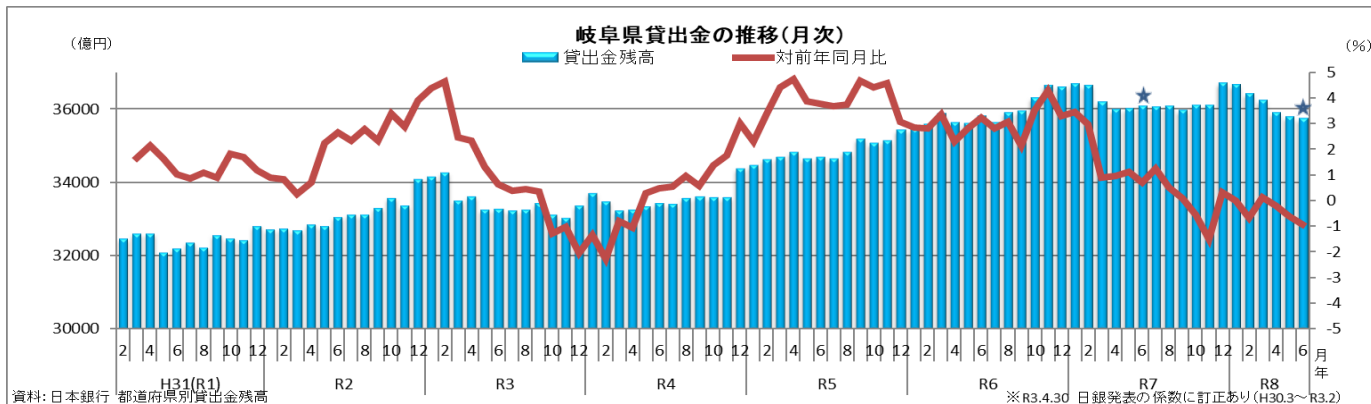


現場の動き

- ◆イラン情勢等の影響により、原材料等の高騰が続いている。(岐阜市、大垣市、郡上市、高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆人材不足が深刻化しており、日本人の人材確保が困難である。(高山市、下呂市の宿泊施設)
- ◆中国の渡航自粛による県内への影響について、県全体としては著しい影響は生じていないが、宿泊者数が落ち込んでいる施設もある。(岐阜市、高山市の宿泊施設)
- ◆インバウンドが好調である。(高山市の宿泊施設)

資金繰り

- 6月の岐阜県貸出金残高は、3兆5,733億円で前年同月比▲0.9%となった。
- 6月の制度融資実績は、金額が3,147百万円で前年同月比35.9%増加、件数は314件で同35.9%増加となった。
- 制度融資利用企業の従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の78.5%を占めている。



現場の動き

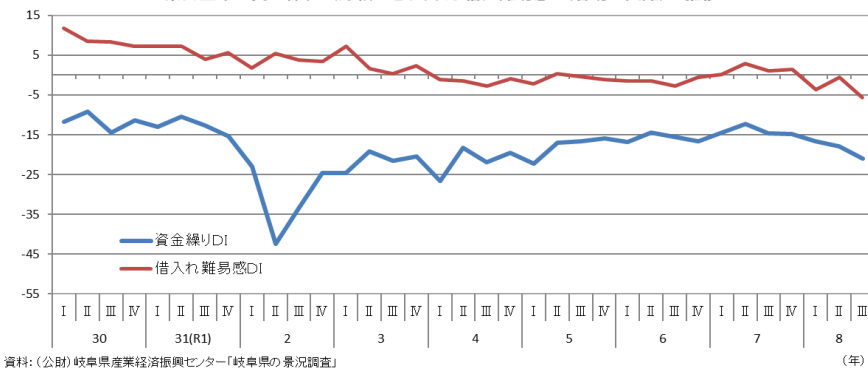
- ◆ 融資動向については、前年同時期と比較し、業種問わず全体的に緩やかな増加傾向にある。
- ◆ 金利の上昇傾向にある中、事業者は利上げを仕方のないものとして受け入れており、借入を控える動きはない。
- ◆ 事業性の資金需要が低く、赤字補填などの後ろ向きな融資が多い。

(以上、金融機関)

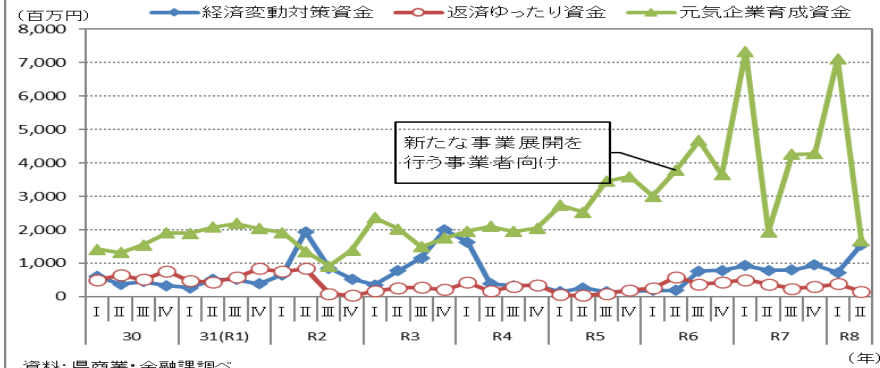
資金繰りー2

- 7－9月期の資金繰りDI見通しは▲20.9で、前期比▲3.0ポイントとなった。同借入難易感DI見通しは▲5.6で、前期比▲5.1ポイントとなった。
- 4－6月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比96.0%増加、返済ゆったり資金では同▲58.5%、元気企業育成資金で同▲13.5%減少となった。
- 6月のセーフティネット5号保証承諾実績は、件数が8件で前年同月比▲20.0%、金額258百万円で同▲14.5%となった。
- 6月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は73件で前年同月比▲1.4%、金額は706百万円で同▲1.9%となった。

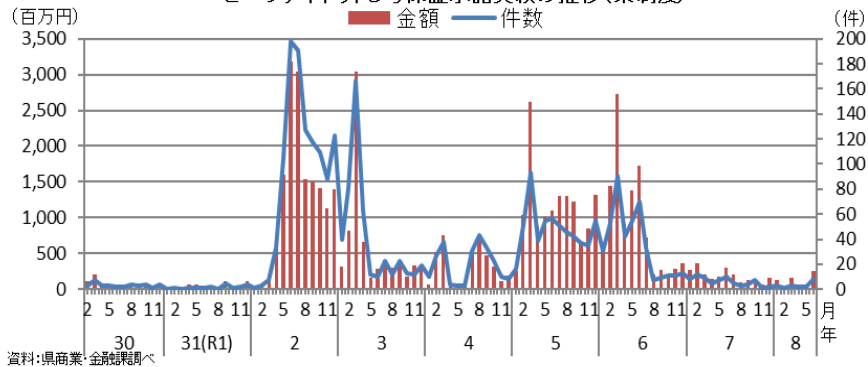
県内企業の資金繰りDI(好転－悪化)及び借入難易感DI(容易－困難)の推移



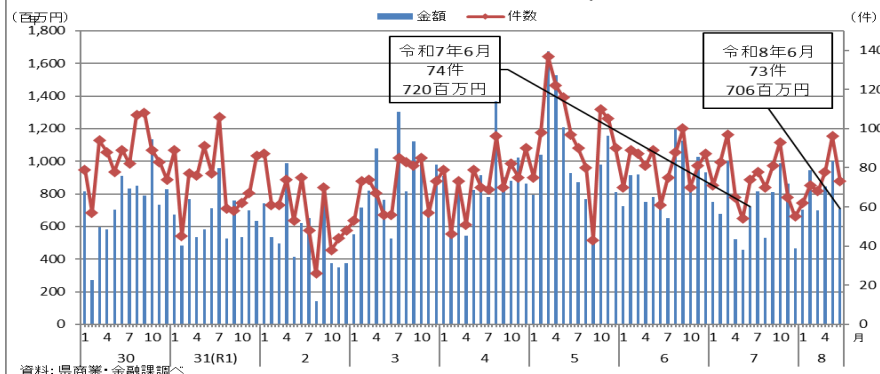
主要資金別新規制度融資額実績の推移



セーフティネット5号保証承諾実績の推移(県制度)

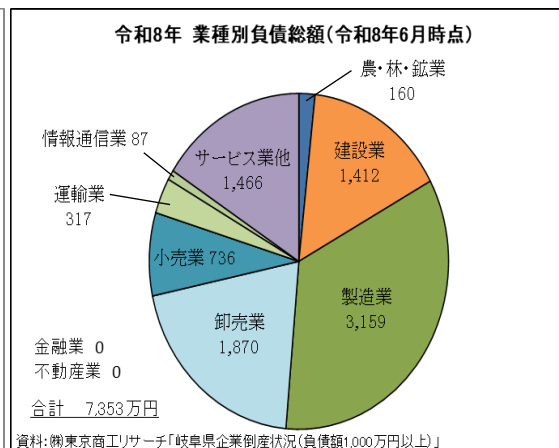
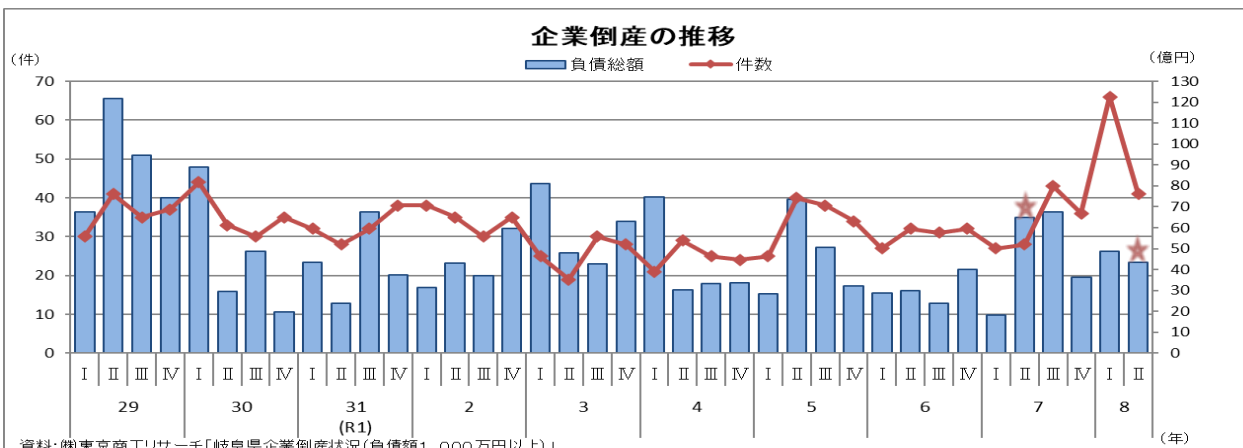
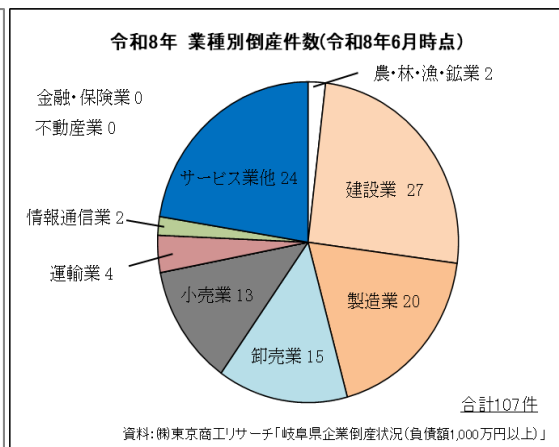
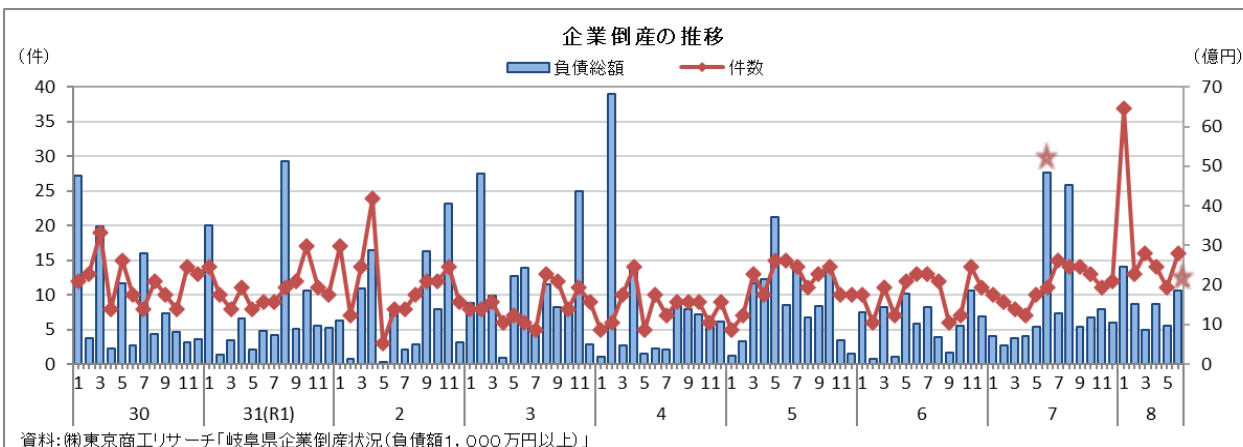


県信用保証協会 事故報告受付状況(毎月)



倒産

○6月単月の倒産件数は16件、負債総額は前月比890百万円増加し1,854百万円となった。
○令和7年6月は負債総額10億円以上の倒産が3件に対して、令和8年6月は同倒産1件となった。
負債総額は前年同月▲2,980百万円となった。



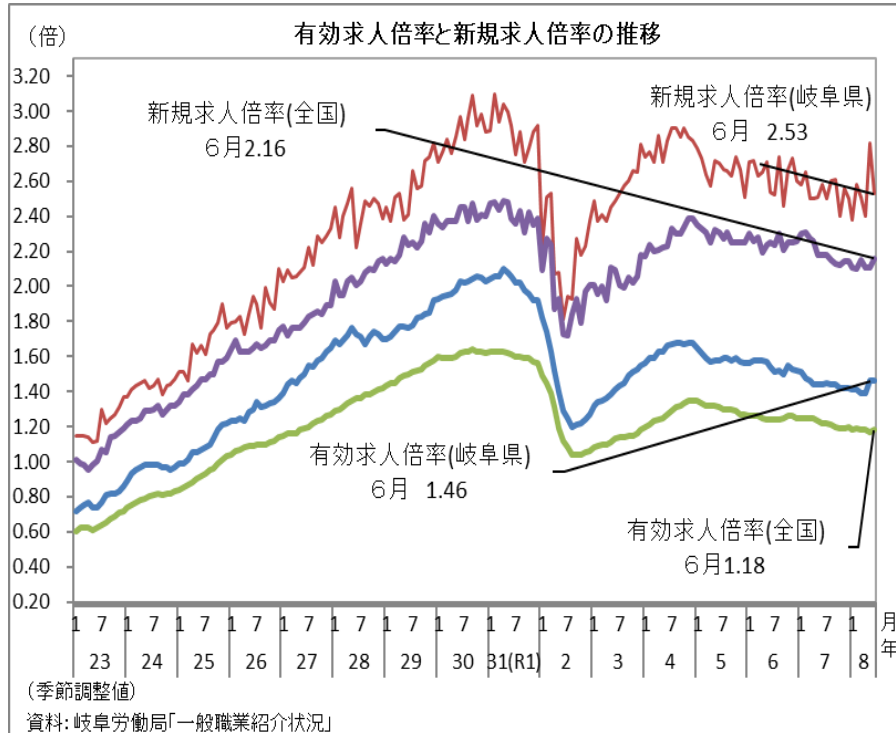
専門機関の分析(東京商工リサーチ・7月27日時点)

◆物価高、人件費や金利上昇によるコスト負担が収益悪化を招き、資金繰りに厳しさが増す企業が増加していることは明らかである。さらに、中東情勢が長期化するようであれば体力が弱く、コスト高に対して価格転嫁ができない中小零細企業を中心に倒産は増勢を辿る可能性が十分にある。

雇用

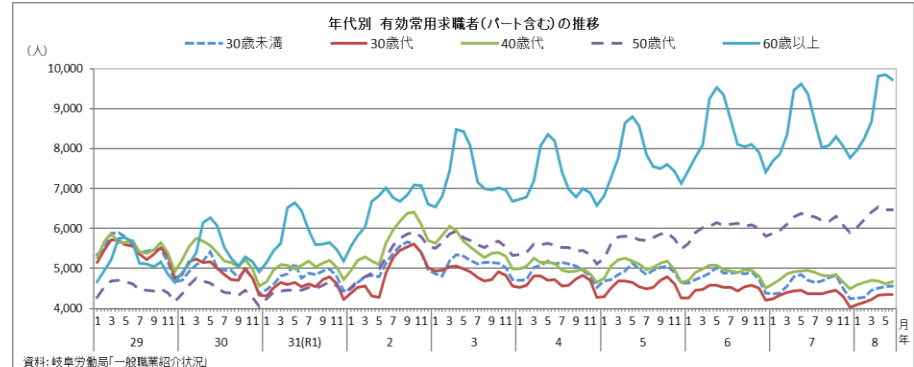
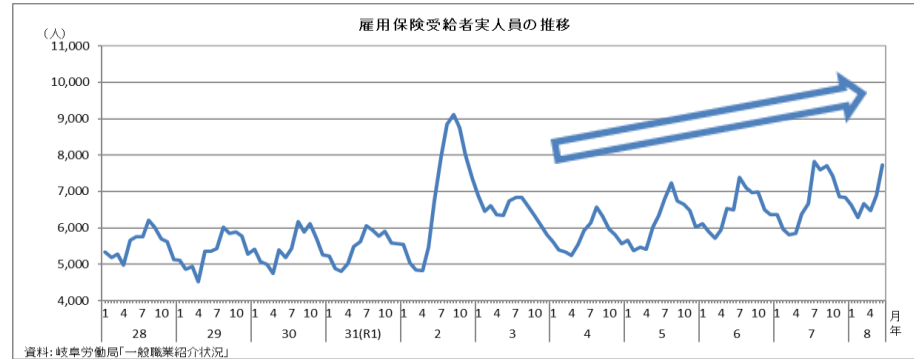
○6月の有効求人倍率は1.46倍と、前月比横ばいとなった。

○6月の新規求人倍率は2.53倍と、前月比▲0.29ポイントとなった。



○6月の雇用保険受給者人員は、前年同月比15.7%増加している。

○有効常用求職者は、50歳代では40ヶ月連続で上昇、60歳代では10ヶ月連続で上昇した。



現場の動き

- ◆ 中途採用は散発的な応募があるが、27卒の新卒採用については、引き続き応募はない。(輸送用機械)
- ◆ 来年春の新卒採用活動を進めているが、現状では面接件数が低調で推移している。(生産用機械)
- ◆ 女性の採用率が高いが、応募自体が少ない状況が続いている。(輸送用機械)
- ◆ 岐阜県は宿泊業者が多く、インバウンド需要が非常に好調で、宿泊客の増加に伴い人材確保が必要。(金融機関)
- ◆ 残業規制や働き方改革からドライバー従業員は不足気味。高等学校卒業者の雇用も困難になっている。(運送)

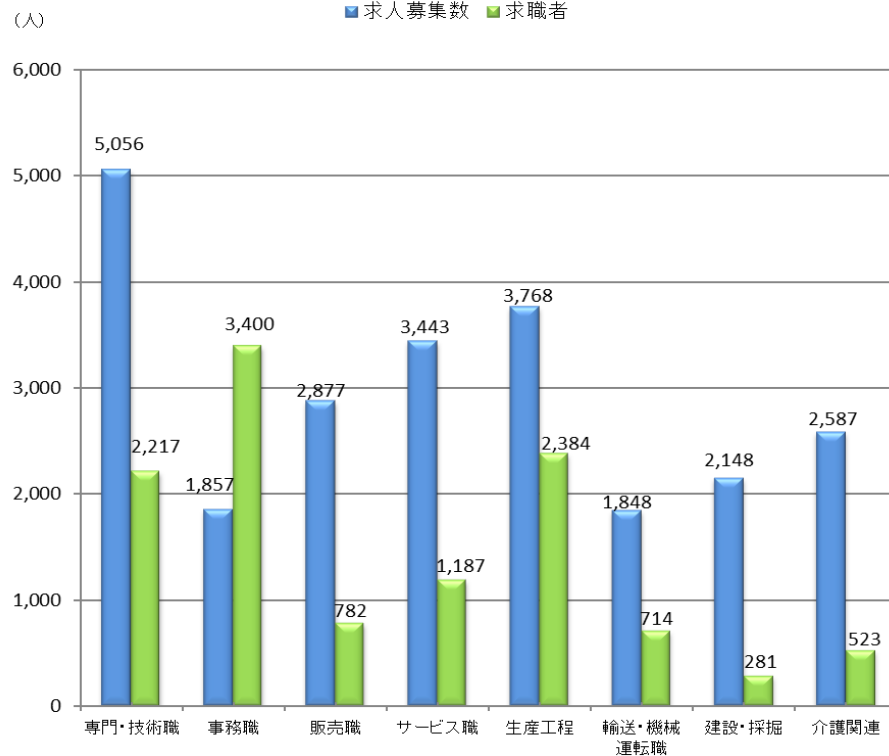
雇 用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で7.64倍、介護関連で4.95倍、販売職で3.68倍、サービス職で2.90倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.55倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

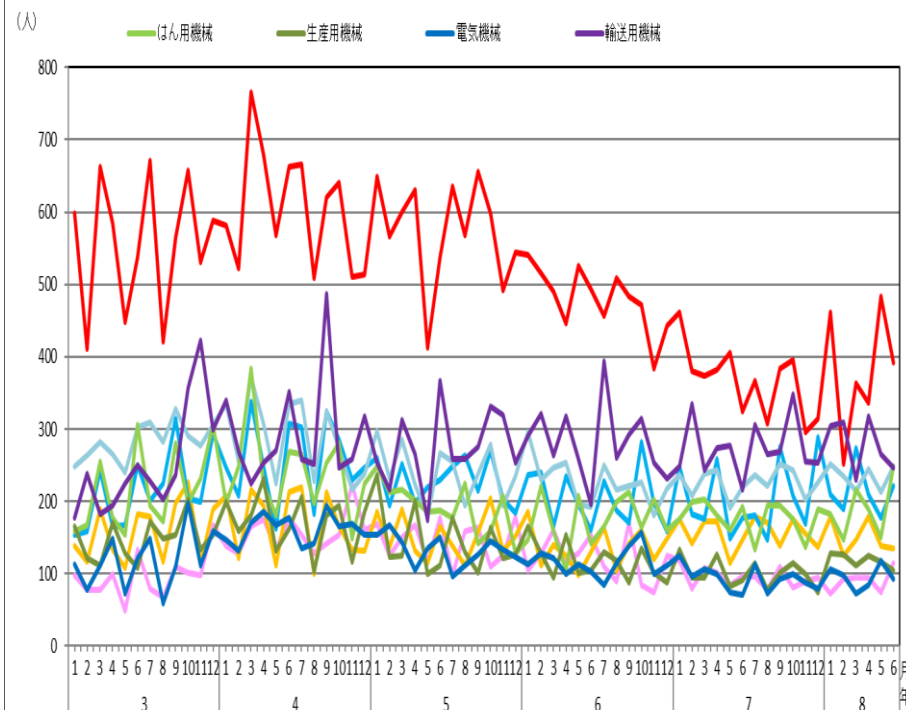
○6月の主要産業別の新規求人数は、電気機械で前年同月比32.9%、はん用で同29.2%、窯業・土石で同24.2%、食料品製造で同21.0%、繊維工業で同18.6%、生産用機械で同14.3%、輸送用機械で同13.4%、金属製品で同13.2%増加した一方、プラスチック製品で同▲8.2%となった。

6月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



資料: 岐阜労働局「求人・求職バランスシート」

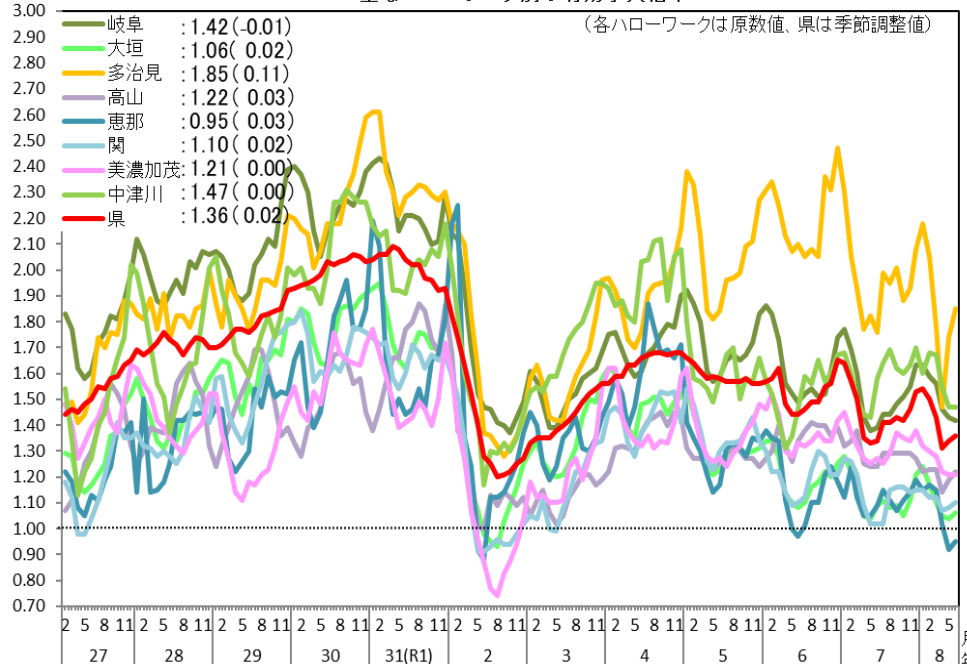
主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇 用(地域別)

主なハローワーク別の有効求人倍率



注1: 大垣所分は揖斐出張所分を含む 注2: 平成21年4月以降の関所分は岐阜八幡出張所を含む
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

〇6月の主なハローワーク別の有効求人倍率は、岐阜で前月比減少となった。

現場の動き(前月比)

<ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク多治見>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

<ハローワーク高山>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数はやや増加。

<ハローワーク恵那>

- ◆求人者数はやや増加、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク関>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

<ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は横ばい、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

<ハローワーク中津川>

- ◆求人者数は増加、求職者数は横ばい。
- ◆雇用保険受給者数はやや減少。

<窓口の様子>※前月比

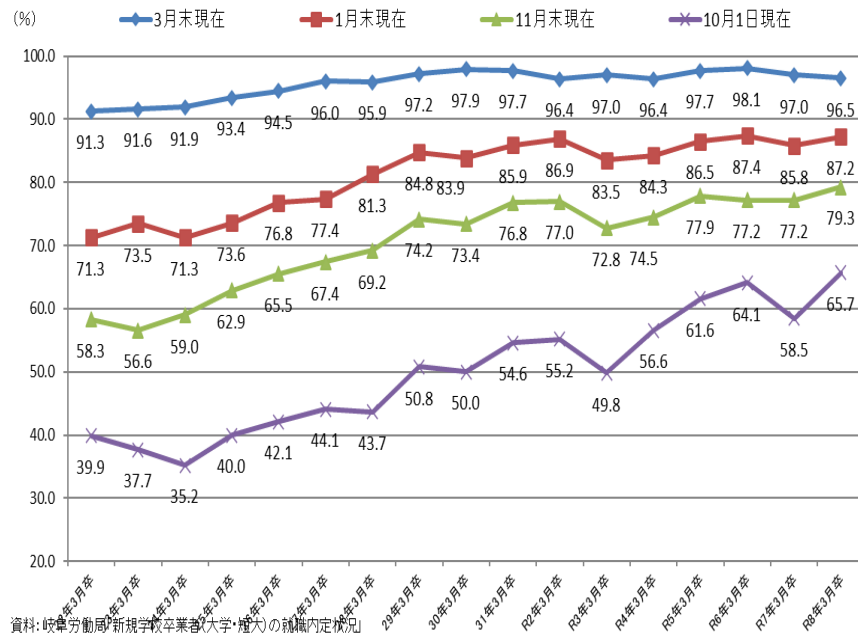
- ◆揖斐で混雑、岐阜、大垣、高山、関、美濃加茂、中津川で同じくらい、多治見でやや空いている、恵那で空いている状況。

雇 用(大学・短大新卒者の就職)

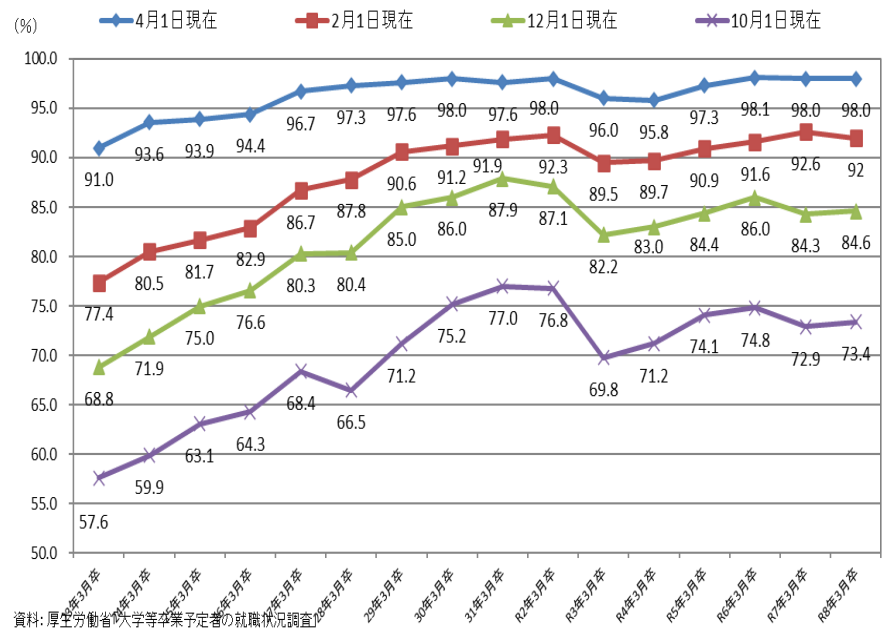
○岐阜県の令和8年3月末現在の大学・短大卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は、96.5%であり、前年同時点と比べ▲0.5ポイント減少となった。

○全国の令和8年4月1日現在の大学卒業者(令和8年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と同率となった。

新規卒業者(大学・短大)の就職内定率の推移<岐阜県>



新規卒業者(大学)の就職内定率の推移<全国>



現場の動き(2026卒、2027卒の動きなど)

<大学へのヒアリング>

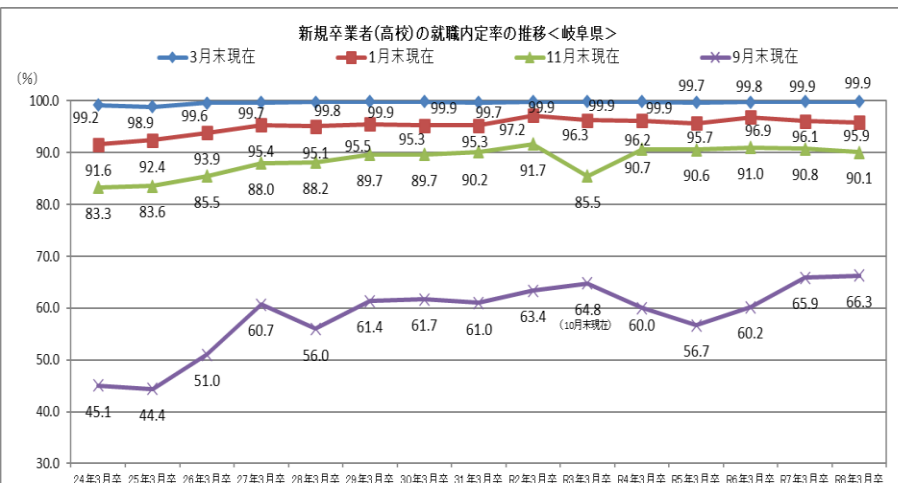
- ◆ 27卒の学生の就職内定率は8割。
- ◆ 内定している内の4割は就職活動を継続しており、大手企業から内定が出ていても「自分に合った」企業を求めている学生が多いと感じており、東日本大震災以降の学生は企業規模や知名度に拘らず、自分の学んできたことを生かせる企業や小さくても自分の役割が明確な企業を選んでいる学生が増えてきている印象。

(以上、岐阜・愛知県内大学)

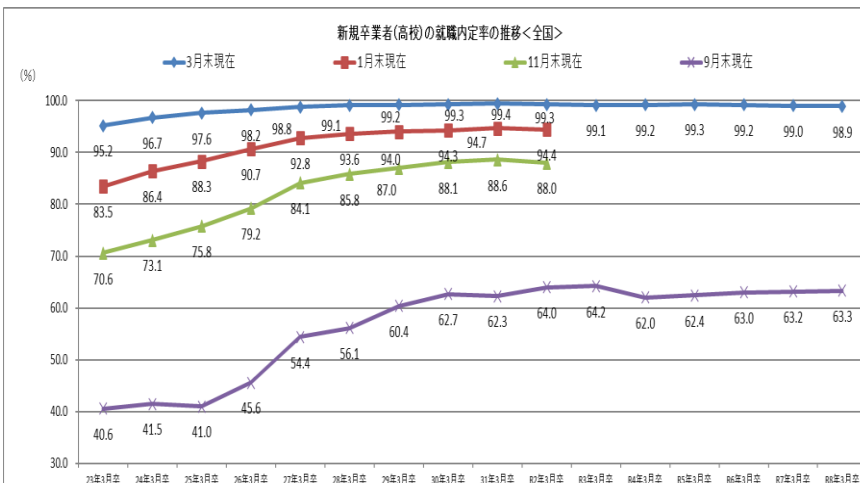
雇 用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和8年3月末現在の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は99.9%であり、前年同時点と同率となった。

○全国の令和8年3月末時点の高校卒業者(令和8年3月卒業)の就職内定率は98.9%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイント減少した。

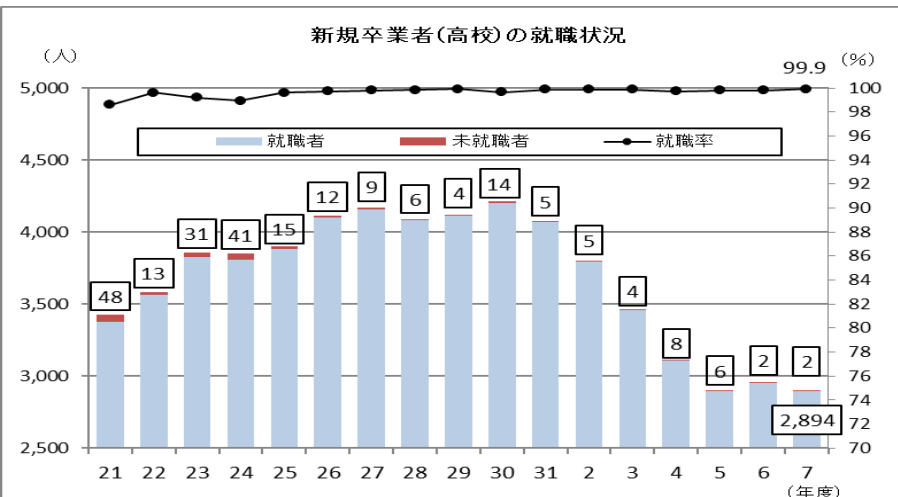


資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

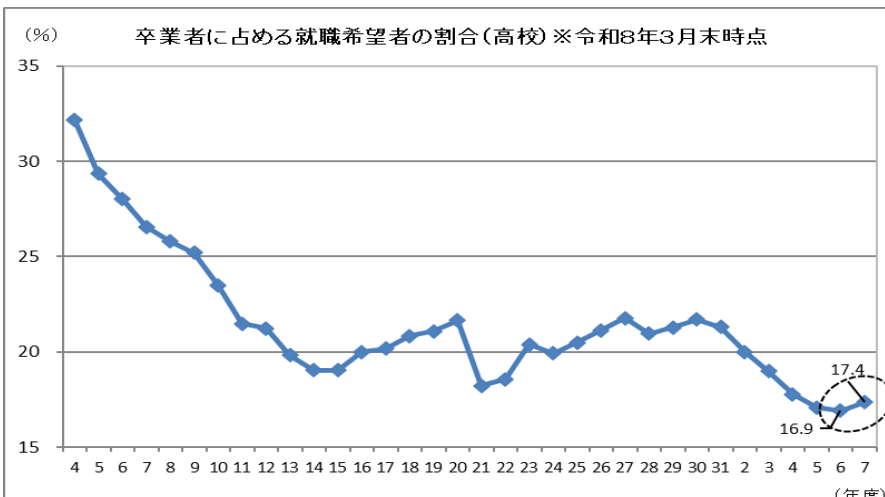


資料: 厚生労働省「高校・中学校卒業者の求人・就職内定状況等」

※38年3月卒から「11月末」及び「1月末」は集計していない。



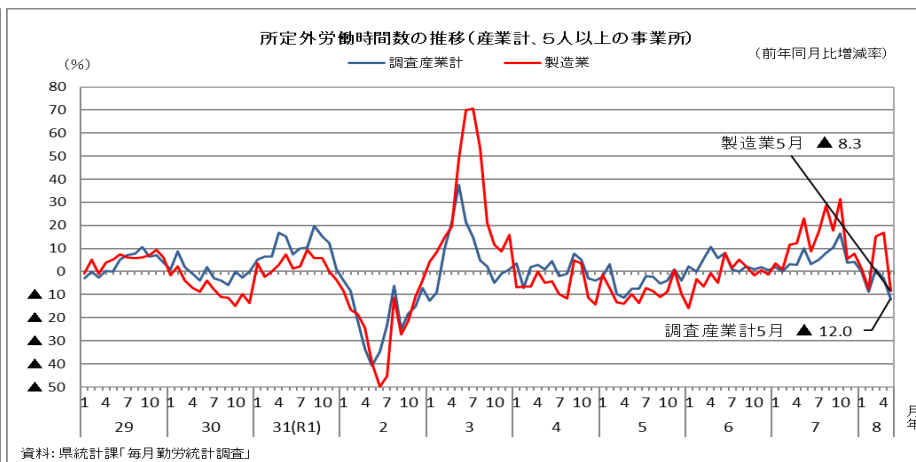
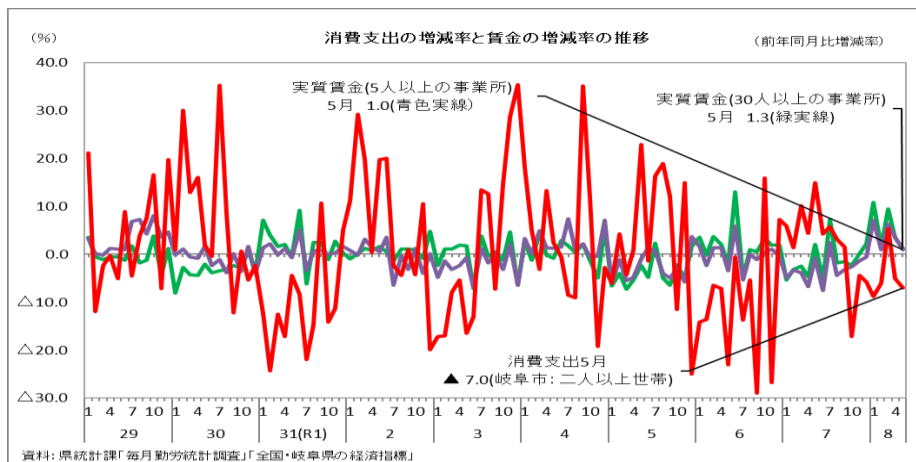
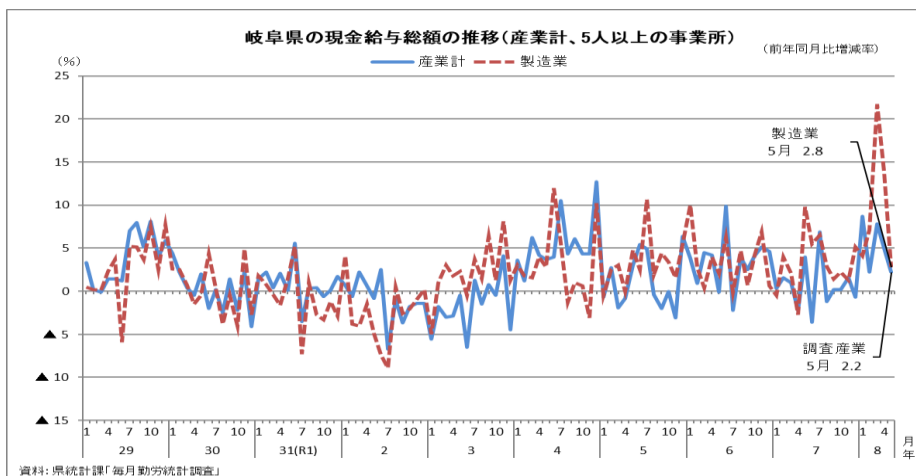
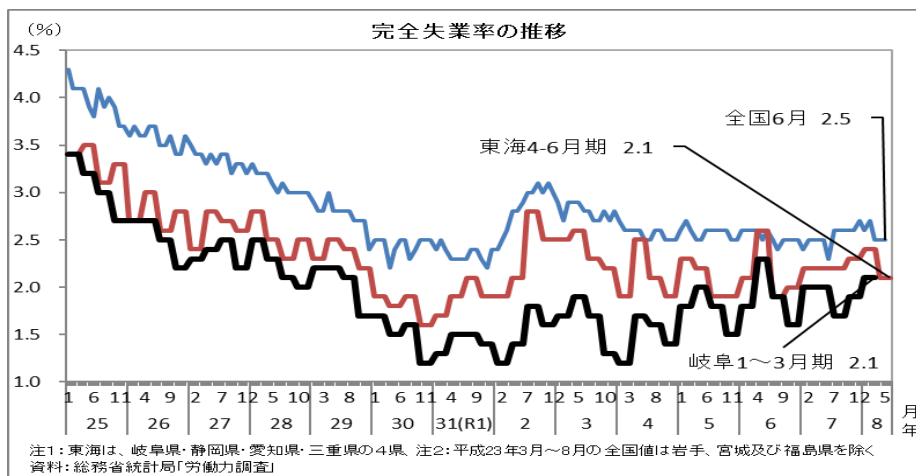
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

雇 用(完全失業率等)

- 全国の6月の完全失業率は2.5%で前月比横ばいとなった。岐阜県の1-3月期の平均は2.1%で前期比0.2%増加となった。
- 5月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比2.2%、製造業で同2.8%増加となった。
- 5月の実質賃金増減率は、30人以上の事業所で前年同月比1.3%増加、5人以上で1.0%増加となった。5月の消費支出については同▲7.0%となった。
- 5月の所定外労働時間数は前年同月比で▲12.0%となった。



<経済・雇用の現状（総括）>

- 製造業は、5月の鉱工業生産指数は前月比8.6%上昇となった。ヒアリングでは、飛翔体部門の受注は引き続き順調であり、防衛部門からも受注が増えてきているとの声がある一方、製品に使用するタングステンの輸入がストップしているなど、原材料費の値上がりがいまだに続いているとの声も聞かれた。
- 地場産業は、5月の鉱工業生産指数は食料品、木材・木製品、繊維工業、家具、窯業・土石で下降した。ヒアリングでは、高級包丁が円安による輸出好調、インバウンド需要好調といった声がある一方、低価格なカジュアル商品と機能的なリカバリーウェアの動きはいいが、その他の衣料品は苦戦しており、価格転嫁が出来ていないといった声が聞かれた。
- 設備投資は、6月の全国の金属工作機械受注額は、前年同月比52.8%増加となった。ヒアリングでは、設備更新やラインの自動化に向けた投資が6割、コロナ期に先送りした保守関係を4割程度で進める見込といった声がある一方、コスト高を受けて設備投資を控える考えと、今後更なるコスト上昇が見込まれることから、今のうちに投資に踏み切る考えの二通りの傾向がみられるといった声があった。
- 個人消費は、6月の販売額は、全体で前年同月比▲1.8%となった。ヒアリングでは、売上と客数は前年を上回り、非常に厳しかった先月からはトレンドが少し回復するも、全体としては厳しい状況が続くといった声があった。
- 観光は、宿泊者数は、前年同月を上回っている。宿泊施設からのヒアリングでは、人手不足に苦慮しているとの声が多くあり、外国人人材を活用する施設もあった。
- 企業の資金繰りは、6月の制度融資実績は前年同月比35.9%増加となった。融資動向については前年同時期と比較し、業種問わず全体的にゆるやかな増加傾向にあるとの声がある一方、事業性の資金需要が低く、赤字補填などの後ろ向きな融資が多いとの声が聞かれた。
- 雇用面は、6月の有効求人倍率は1.46倍と前月比横ばいとなった。ヒアリングでは、来年春の新卒採用活動を進めているが、現状では面接件数が低調で推移しているといった声や、女性の採用率は高いが、応募自体が少ない状況が続いているといった声が聞かれた。